



2026年3月期

# 決算説明会

2026年6月10日

株式会社GSIクレオス

東証プライム市場 8101

An aerial photograph of a city skyline, likely Tokyo, featuring numerous skyscrapers and modern buildings. The image is overlaid with a semi-transparent teal color. In the center, the Japanese text "はじめに" (Hajime ni) is written in white. The text is positioned in the middle of the frame, centered horizontally and vertically. The background shows a dense urban landscape with various building heights and architectural styles, including a prominent curved elevated roadway in the lower right quadrant.

はじめに

## 本日お伝えしたいこと

- 中期経営計画 “GSI CONNECT Phase 2” 初年度となる2026年3月期は、売上・利益ともに予想を上回る結果となった。売上高・純利益は過去最高額を更新し、前期比7円の増配とする。
- 中計2年目となる2027年3月期は、不透明な事業環境に左右されない強固な経営基盤を構築し、過去最高純利益の更新に取り組み、11期連続増配を予想している。
- 2026年4月に有機薄膜太陽電池(OPV)の事業会社を設立した。2030年代半ばまでに、売上高100億円規模を目指す。

# 目次

---

- |                                             |       |
|---------------------------------------------|-------|
| 1. <u>会社概要</u>                              | P. 5  |
| 2. <u>2026年3月期 決算概要</u>                     | P. 11 |
| 3. <u>2027年3月期 業績予想</u>                     | P.20  |
| 4. <u>中期経営計画 “GSI CONNECT Phase 2” 進捗状況</u> | P.25  |
| 5. <u>結び</u>                                | P.45  |
| 6. <u>補足資料</u>                              | P.47  |



1

# 会社概要

# (株)GSIクレオス 会社概要



▲▼(本社)芝公園ファーストビル

## 住所(本社)

東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル 16階

## 国内・海外拠点

【国内】 大阪支店、北陸営業所、福岡営業所、熊本営業所、東北営業所、ナノカーボン開発センター、など（計：9カ所）

【海外】 アメリカ、ブラジル、ドイツ、フランス、中国、香港、タイ、インドネシア、ベトナム、インド、など（計：27カ所）

## 事業内容

「繊維事業」と「工業製品事業」を基軸とする  
“事業創造型商社”



# (株)GSIクレオスの特徴 ~グローバル展開~

全世界に拠点を構え、グローバルに事業を展開。

国内**9**拠点、海外**27**拠点  
海外売上高比率 **69.4%**

欧州 2拠点

- ドイツ (デュッセルドルフ)
- フランス (グラス)



アジア (中国本土) 9拠点

- 上海
- 北京
- 深圳 他



アジア 9拠点

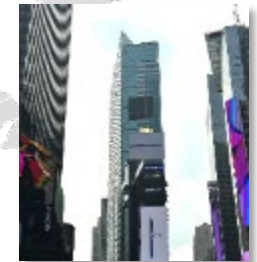
- 韓国 (ソウル)
- タイ (バンコク)
- インドネシア (ジャカルタ)
- ベトナム (ハノイ)
- インド (ムンバイ)
- 香港
- 台湾 他

日本 9拠点

- 本社
- 大阪支店
- 東北営業所
- 北陸営業所
- 福岡営業所
- 熊本営業所
- ナノカーボン開発センター 他

北米 5拠点

- ニューヨーク
- ロサンゼルス
- シカゴ
- ヒューストン



南米 2拠点

- ブラジル (サンパウロ) 他



# (株)GSIクレオスの特徴 ～繊維事業について～

素材やテキスタイルの企画提案、開発・調達から製品の生産および自社ブランドの展開まで、繊維業界を広範囲にわたり支える、当社グループの基幹事業と位置付けている。

## ファイバー



- 原糸・繊維原料
- メディカル繊維原料・製品

## アウター



- アパレル製品(OEM、ODM)
- 生地(テキスタイル)
- 生活雑貨

## インナー



- ランジェリー、インナー製品(OEM、ODM)
- インナー用生地
- 最終製品(自社ブランド)

# (株)GSIクレオスの特徴 ~工業製品事業について~

繊維向けなどの化学品や繊維機械の取り扱いから事業がスタート。現在では、半導体・化成品・ホビー商材・美容から医療まで、成長著しい分野でシェア拡大を図る成長ドライバーとして、専門性豊かな商品・商材を提供している。

## semiconductor



- 半導体製造装置用部材
- 汎用半導体部材

## Chemical



- 塗料原料、化学品
- 機能性樹脂、フィルム
- カーボンナノチューブ

## Hobby & Life



- ホビー関連商材
- 化粧品原料
- 健康食品、ヘルスケア用品

## Machinery & Equipment



- 産業機械、理化学機器
- 複合材成型設備・材料

# (株)GSIクレオス ～パーパスと企業理念～

次代の生活品質を高める  
事業の創造者として  
人びとの幸せを実現する

パーパス  
(2022年)

コーポレートメッセージ  
**Produce the Future**

次代をつくる

グループスローガン  
**Weave a New Story**

つむぐ・つなぐ・つなげる

存在理念

経営理念

行動理念

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。  
次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサーとして、  
独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、  
GSIクレオスと価値を共創するすべての当事者の幸せを実現します。

An aerial photograph of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers and buildings. The image is overlaid with a semi-transparent teal color. The text is centered on the image.

2

# 2026年3月期 決算概要

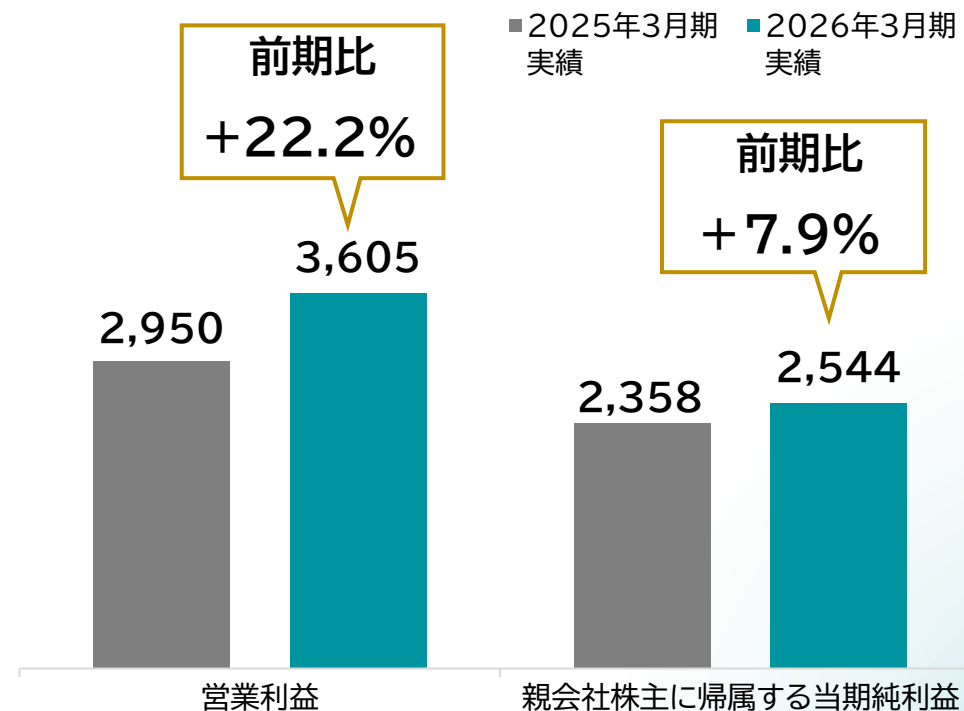
## 業績サマリー（前期比）

## Point

- 売上高および利益のすべての項目で前期を上回る。売上高および当期純利益は過去最高額を更新。
- 1株当たり配当金：前期比で7.00円上回る、104.00円とする。

経営成績 (百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比
売上高	165,541	188,677	+14.0%
<b>営業利益</b>	<b><u>2,950</u></b>	<b><u>3,605</u></b>	<b><u>+22.2%</u></b>
経常利益	2,548	3,924	+54.0%
<b>親会社株主に 帰属する当期純利益</b>	<b><u>2,358</u></b>	<b><u>2,544</u></b>	<b><u>+7.9%</u></b>
1株当たり配当金 (円)	97.00	104.00	+7.00円

営業利益および当期純利益の前期比較（百万円）



## 業績サマリー（公表業績予想比）

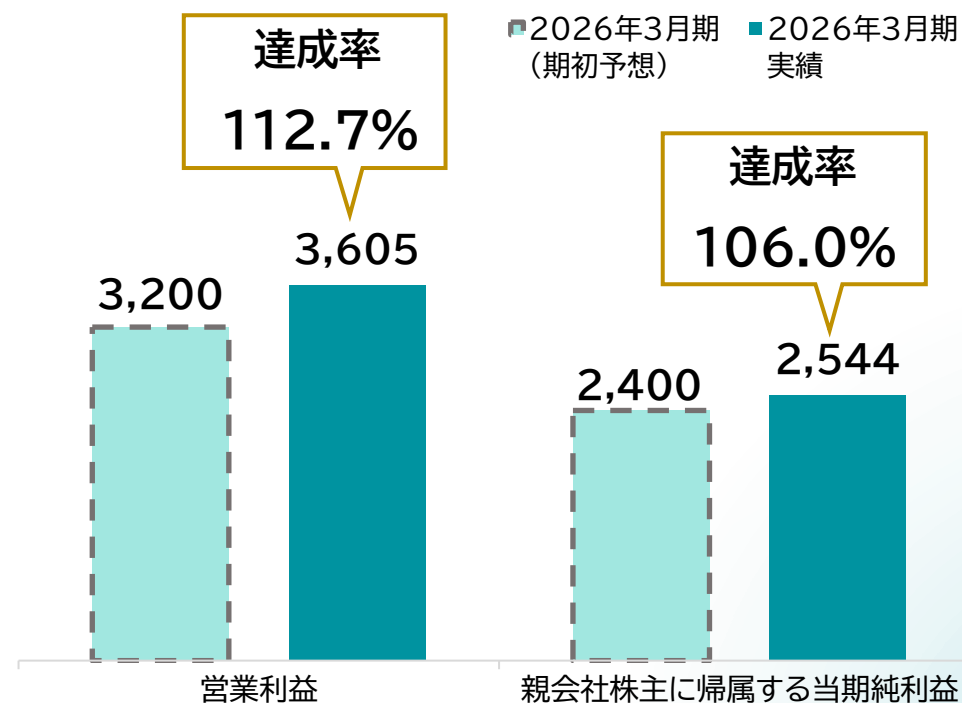
## Point

●経営成績: 公表予想の全項目を上回る。

繊維事業は、インナー用機能糸・生地取引が、最終製品の需要拡大を背景に伸長。不採算事業からの撤退やトリアセテート繊維事業の稼働が進展した。工業製品事業は、塗料原料や複合材関連装置の大型案件が貢献した。

経営成績 (百万円)	2026年3月期 期初予想 (2025/5/15公表)	2026年3月期 直近公表予想 (2026/2/9公表)	2026年3月期 実績
売上高	166,000	172,000	188,677
営業利益	<u>3,200</u>	<u>3,300</u>	<u>3,605</u>
経常利益	3,200	3,400	3,924
親会社株主に 帰属する当期純利益	<u>2,400</u>	<u>2,500</u>	<u>2,544</u>
1株当たり配当金 (円)	100.00	102.00	104.00

営業利益および当期純利益の  
公表業績予想比較 (百万円)



# 事業別 業績サマリー

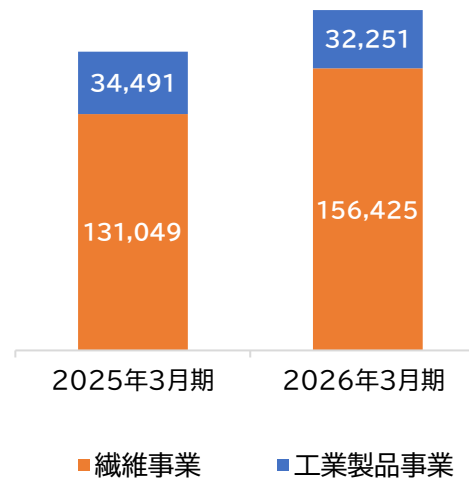
## 売上高

(百万円)

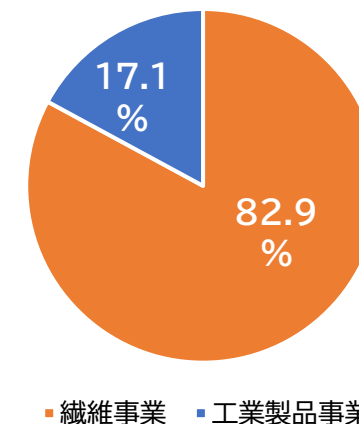
セグメント	2025年3月期	2026年3月期	前期比 (金額)
繊維事業	131,049	156,425	25,375
工業製品事業	34,491	32,251	△2,239
合計	165,541	188,677	23,136

## 売上高 比較

(百万円)



## 2026年3月期 売上高構成比



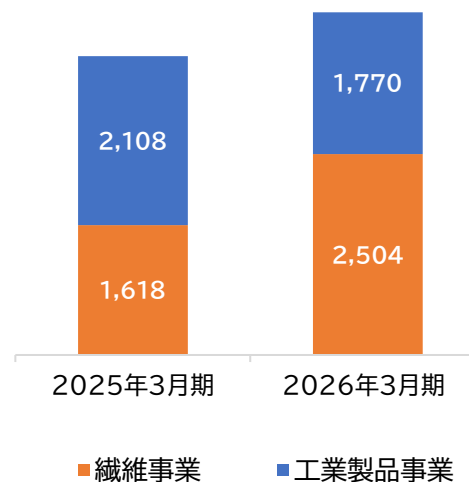
## 営業利益

(百万円)

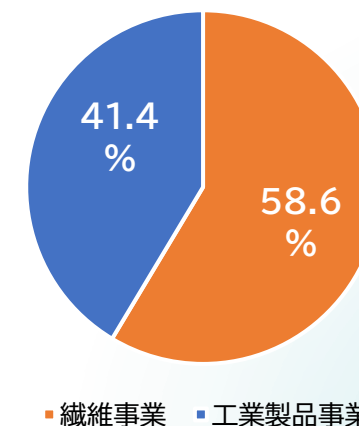
セグメント	2025年3月期	2026年3月期	前期比 (金額)
繊維事業	1,618	2,504	886
工業製品事業	2,108	1,770	△337
調整額	△777	△670	106
合計	2,950	3,605	654

## 営業利益 比較

(百万円)



## 2026年3月期 営業利益構成比

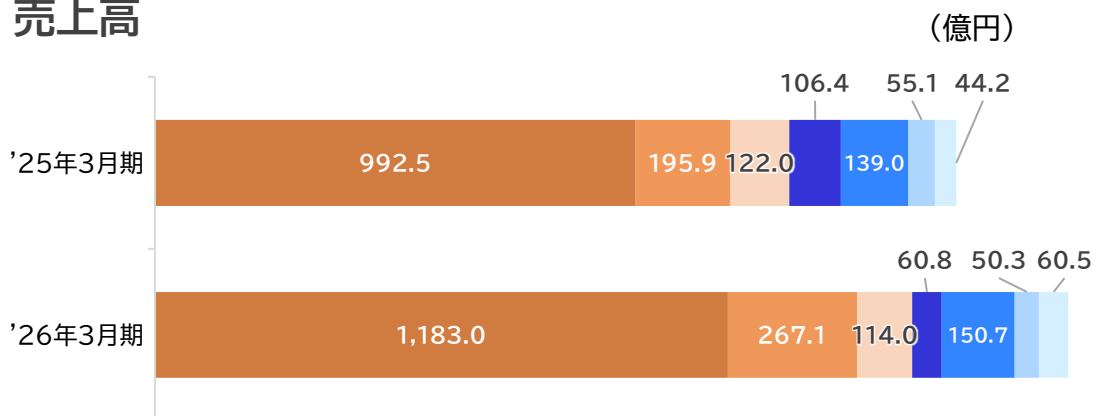


# セグメント別業績 (前期比)

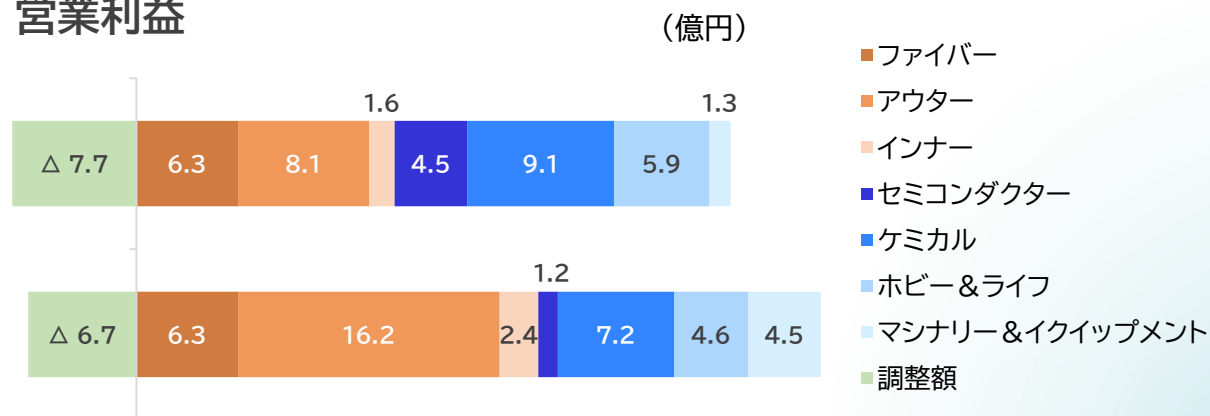
(百万円)

セグメント		売上高			営業利益		
		2025年3月期	2026年3月期	前期比	2025年3月期	2026年3月期	前期比
繊維	ファイバー	99,258	118,301	19,043	631	637	6
	アウター	19,590	26,716	7,125	817	1,625	807
	インナー	12,201	11,407	△793	169	241	72
工業製品	セミコンダクター	10,640	6,085	△4,555	457	120	△336
	ケミカル	13,909	15,073	1,163	918	727	△190
	ホビー&ライフ	5,519	5,036	△483	597	462	△134
	マシナリー&イクイップメント	4,420	6,056	1,635	135	459	324
調整額		-	-	-	△777	△670	106
合計		165,541	188,677	23,136	2,950	3,605	654

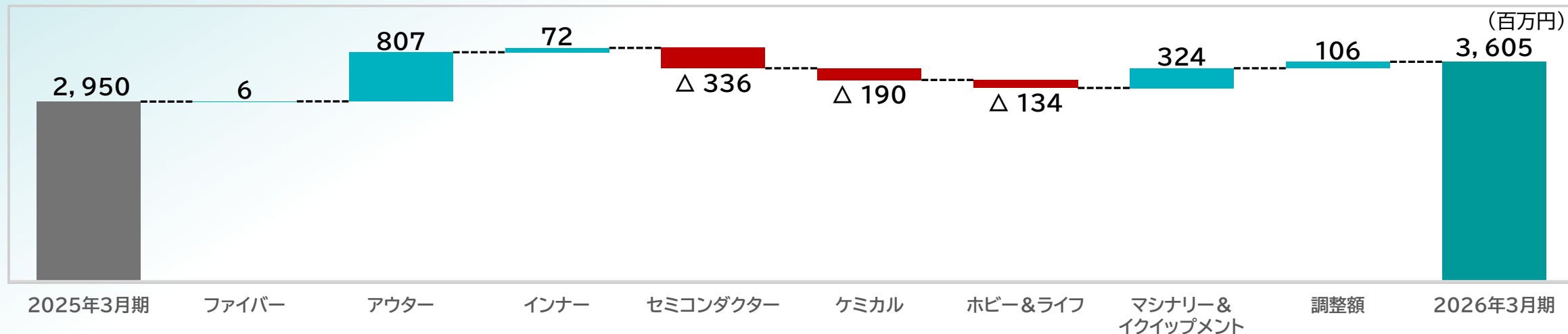
## 売上高



## 営業利益



# セグメント別業績（前期比）営業利益 推移



## 繊維事業

ファイバー	第1四半期に特定の取引先に対する貸倒引当金繰入額の計上があったものの、インナー用機能糸・生地取引の好調な推移に加え、冬期の寒暖差の影響により需要が拡大した。
アウター	米国向けの生地輸出販売、製品のOEM取引が引き続き堅調。不採算事業からの撤退による収益改善とともに、前期に買収したトリアセテート繊維事業が寄与した。
インナー	ランジェリーなど一部製品分野で取引が減少したものの、高機能素材や自然由来素材の機能性インナーの取引が伸長。加えて、原料価格高騰への対応も奏功した。

## 工業製品事業

セミコンダクター	中国製ウェハの取引は、引き続き堅調に推移したものの、米国による対半導体輸出規制の継続や一部商材における商流変更の影響を受けた。
ケミカル	塗料原料の輸入取引が伸長し、輸出取引も堅調に推移したものの、在庫の一部で評価減を計上した。
ホビー&ライフ	化粧品原料の取引は、欧米向け輸出販売が好調に推移し、主要基材の価格改定により利益率が改善した。ホビー関連の取引は、欧州向け輸出販売が堅調に推移したものの、主力の国内取引が減少した。
マシナリー&イクイップメント	理化学関連装置の取引は低調に推移したものの、複合材関連装置の大型案件や産業機械の販売が大きく寄与した。

# 連結貸借対照表

## Point

【総資産】 売上債権の増加などにより増加した。

【負債】 仕入債務の増加などにより増加した。

【純資産】 親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本の増加などにより増加した。

(百万円)

財政状態	前期末 (2025年3月末)	当期末 (2026年3月末)	前期末比
総資産	79,965	89,305	9,339
負債 (ネット有利子負債)	49,879 5,486	57,095 4,249	7,215 △1,236
純資産	30,086	32,210	2,124
自己資本	30,086	32,210	2,124
自己資本比率	37.6	36.1	△1.5pt

## キャッシュ・フロー

## Point

【営業活動によるCF】仕入債務の増加などにより4,843百万円の収入となった。

【投資活動によるCF】連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などにより△1,927百万円の支出となった。

【財務活動によるCF】短期借入金の減少などにより△3,221百万円の支出となった。

(百万円)

キャッシュ・フロー	2025年3月期	2026年3月期	前期比
営業活動によるCF	2,713	4,843	2,129
投資活動によるCF	△955	△1,927	△972
(フリー・キャッシュ・フロー)	1,758	2,916	1,157
財務活動によるCF	△4,222	△3,221	1,001
換算差額	112	134	21
現金・現金同等物の増減額	△2,351	△170	2,181

## 海外売上高

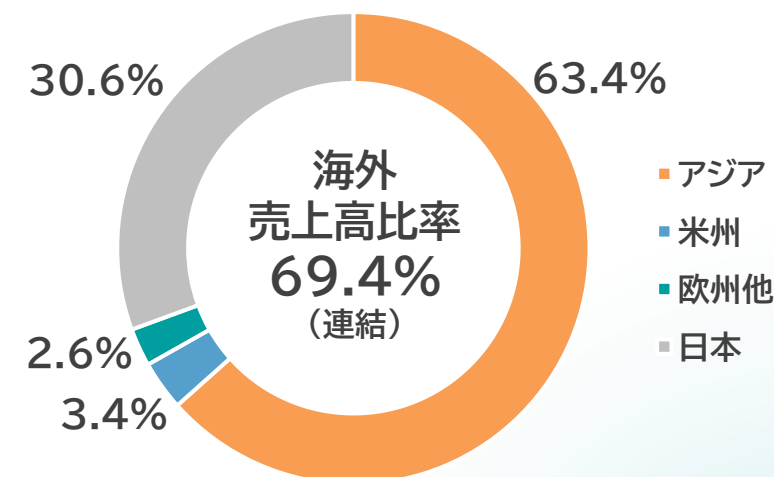
## Point

米州は、半導体事業の一部商流変更の影響を受けたものの、アジアのインナー用機能糸・生地取引が伸長し、海外売上高は前期を大きく上回った。また海外売上高比率は約70%と前年度とほぼ同水準となった。

(百万円)

項目	2025年3月期		2026年3月期		前期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
アジア	99,453	60.1	119,614	63.4	20,161	3.3
米州	12,033	7.3	6,348	3.4	△5,685	△3.9
欧州他	4,876	2.9	4,993	2.6	116	△0.3
海外売上高	116,363	70.3	130,956	69.4	14,592	△0.9

2026年3月期 地域別売上高構成比



アジア:主に中国、香港

米州:主にアメリカ、ブラジル



3

2027年3月期 業績予想

# 事業環境認識

## 事業に影響する外部環境要因

## 対応策

### 中東における紛争の長期化

- 原材料の入手難
- 原材料価格高騰
- 物流混乱による配送遅延

- 迅速な価格転嫁による収益確保
- 拠点間連携による最適調達の推進

### 貿易摩擦の激化

- 米国の対中半導体輸出規制
- 対米輸出関税の継続
- 中国の対日強硬姿勢

- 事業・商材ポートフォリオの見直し
- グループ拠点の拡充・連携強化

### 為替や経済情勢の急激な変動

- 為替相場の急変
- AIによる経済構造の変化

- 為替リスクヘッジの徹底
- DX推進による効率性や収益性の向上、新たなビジネスの創出
- 事業・商材ポートフォリオの見直し

## 2027年3月期 業績予想

## Point

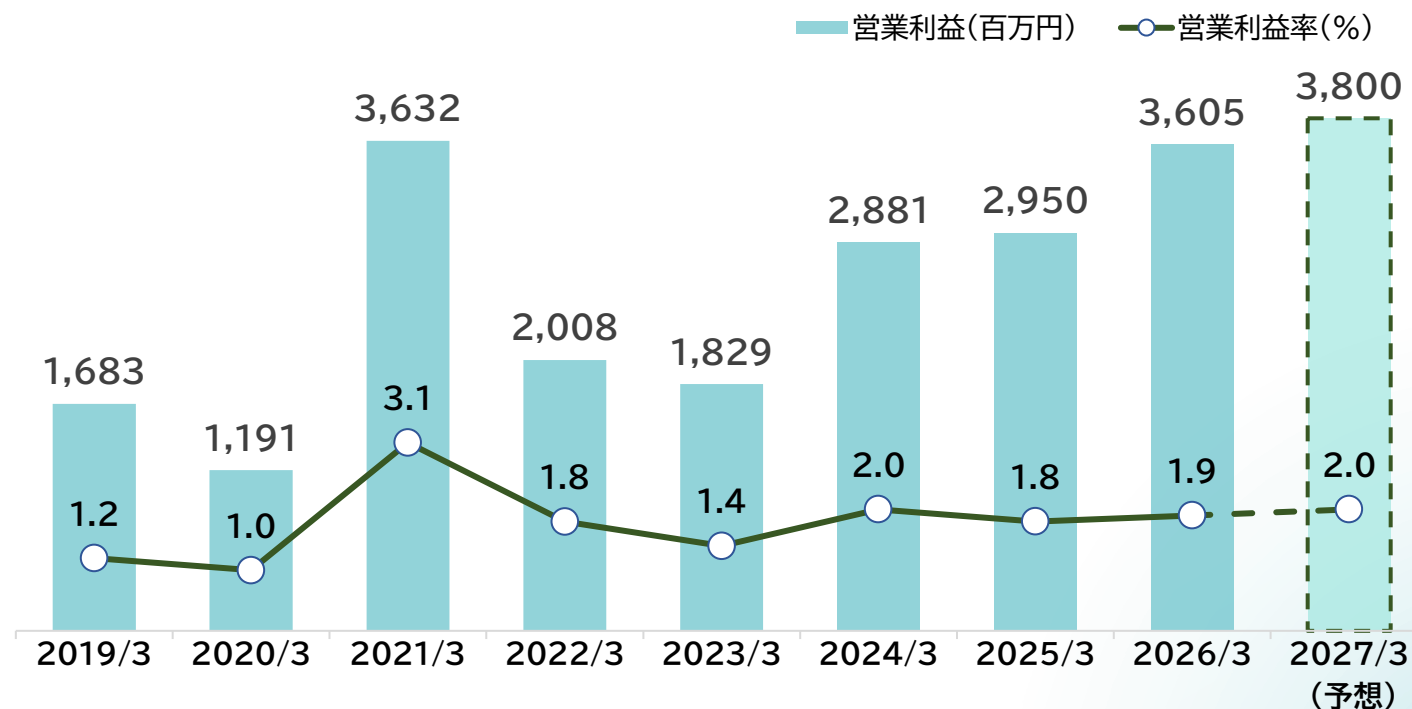
## 過去最高純利益の更新に向けた取り組みを推進していく

- ・中東情勢やそれに伴う原油・エネルギー価格の変動や供給不足の懸念など、事業環境は厳しさを増すと想定している。
- ・経済環境に左右されない強固な経営基盤の構築を進めるとともに、トリアセテート繊維事業やケミカル事業へ注力する。

(百万円)

経営成績	2026年 3月期実績	2027年 3月期予想
売上高	188,677	186,000
営業利益	<u>3,605</u>	<u>3,800</u>
経常利益	3,924	3,800
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<u>2,544</u>	<u>2,600</u>

## 営業利益および営業利益率の推移



## 2027年3月期 配当予想

## Point

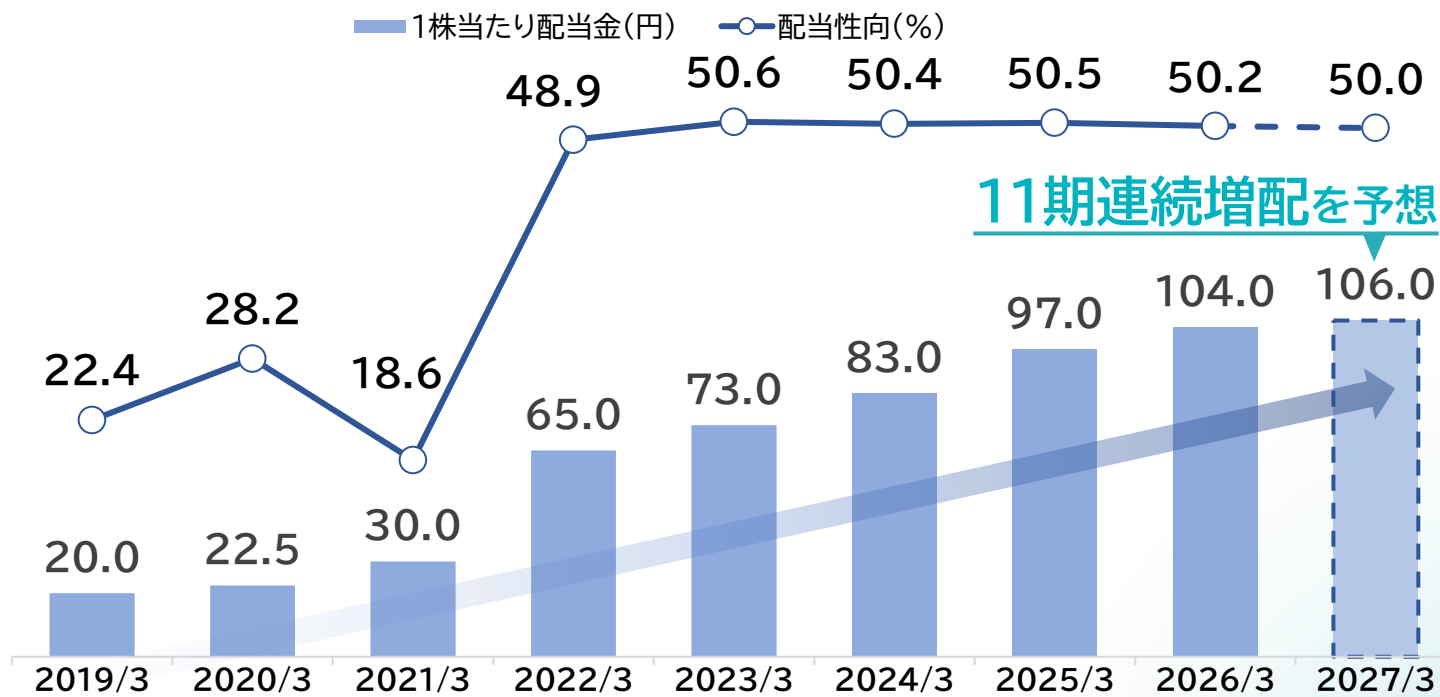
年間(期末)配当金： 前期比で2.0円増配となる106.0円。 11期連続の増配を予想する。

項目	2027年3月期 予想
1株当たり配当金	106.0円
配当性向	50.0%

## “GSI CONNECT Phase2” 株主還元方針

- 配当性向 50%以上を維持
- 累進配当 1株当たり下限100円
- 機動的な自己株式の取得

## 1株当たり配当金および配当性向の推移



※2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

1株当たり配当金につきましては、2019/3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

# 株主優待制度

9月末(基準日)現在、当社株式100株以上を1年以上保有されている株主様を対象に、優待品(当社特製クオカード)を贈呈。

保有株式数	株式保有期間	
	1年以上 3年未満(※)	3年以上
100 株以上 300 株未満	1,000 円	2,000円
300 株以上	2,000 円	3,000円



▲当社特製クオカード (イメージ図)

(※)当社株式をより中長期的に保有いただくことを目的として、[2026年9月末日の基準日](#)より「株式保有期間」を3年未満から「[1年以上3年未満](#)」に変更。

A sunset over the ocean with a teal overlay. The sun is low on the horizon, casting a golden glow across the sky and reflecting on the water. The water transitions from a deep blue in the foreground to a lighter teal in the middle ground, where the text is overlaid. The background shows the sun setting over a calm sea.

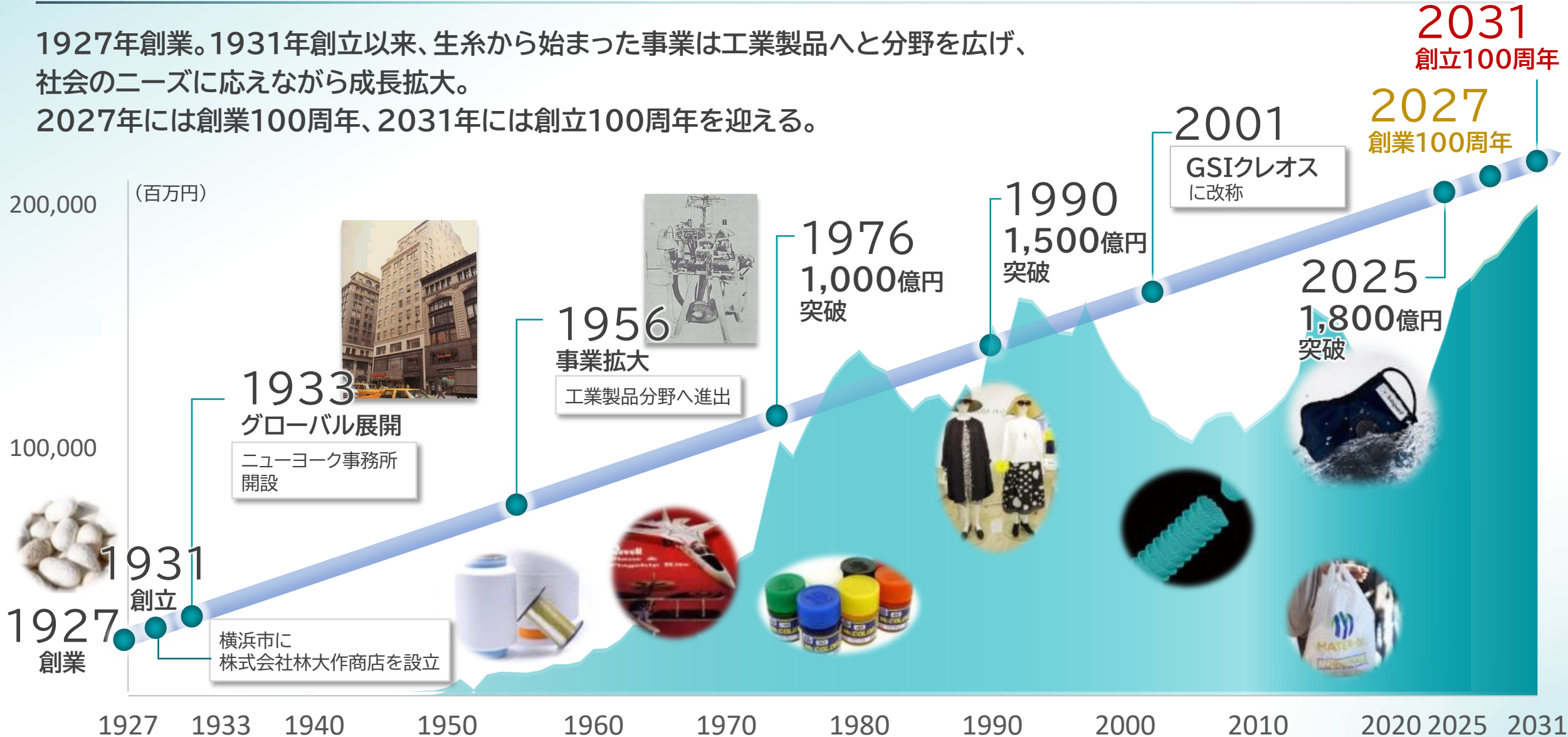
4

中期経営計画

“GSI CONNECT Phase 2”進捗状況

# 成長の軌跡／売上の推移

1927年創業。1931年創立以来、生糸から始まった事業は工業製品へと分野を広げ、社会のニーズに応えながら成長拡大。  
2027年には創業100周年、2031年には創立100周年を迎える。



# 2031年(創立100周年)ビジョン、ありたい姿

## 2031年ビジョン

### 100年、そしてその先へ

～ 創造と刷新を続ける類いなき事業創造型商社であるために ～

#### ありたい姿

- プライム上場企業として市場の期待に応える強靱な経営基盤を築いている。
- 卓越した価値の創造で社会の期待に応える事業を展開している。
- 全てのステークホルダーの期待に応えるサステナブル社会を共創している。

#### 2031年度連結目標

売上高 2,000億円 純利益 40億円 時価総額 500億円超

# 中期経営計画 基本方針と位置づけ

## 基本方針

“GSI CONNECT 2024”で確立した基盤をもとに、既成の枠に囚われず  
弛みない挑戦により「**進化×成長**」を通じて企業価値を向上させる。

- 2031年にむかえる創立100周年に向けた長期目標の第2フェーズ。
- 新たなストーリーをつむぐために、繊維と工業製品のCONNECT、グループ各社やビジネスパートナーとのCONNECT、地域・社会とのCONNECTにより当社グループの強みを発揮しながら、100周年という新たなステージへCONNECTする。



### 各中計の位置付け

これまでにないペースで社内・社外への投資を積極的に行い、将来への種まきをしつつ、過去最高利益を達成した。

前中計から引き継いだ新たな事業ポートフォリオを軌道に乗せ、企業体質を強化しつつ、確実に利益を残し、次の中期経営計画での飛躍的成長へとつなげる。

強化された基盤のもと、進化と成長が加速し、2031年ビジョンに掲げる姿を確実なものとする。

※ 最終年度(2027年度)は、創業者である林大作が個人商店を始めてから100年の節目

## 事業ポートフォリオの考え方・事業間のシナジー

- 繊維事業を「基幹事業」、工業製品事業を「成長ドライバー」とする位置付けを継続
- 「進化×成長」: 進化と成長を掛け合わせ、事業発展を更に加速させる

成長ドライバー

工業製品事業

成長著しい分野にてシェア拡大を  
図り当社成長を牽引する事業

成長分野



シェア拡大

事業間  
シナジー

基幹事業

繊維事業

市場シェアを維持・拡大し、新規性を付加して  
安定的な成長を目指す事業

新規性



安定成長

# 中期経営計画 “GSI CONNECT Phase 2” 進捗状況

2027年3月期を最終年度計画に向けた重要な1年と位置づけ、最高純利益の更新を目指す。

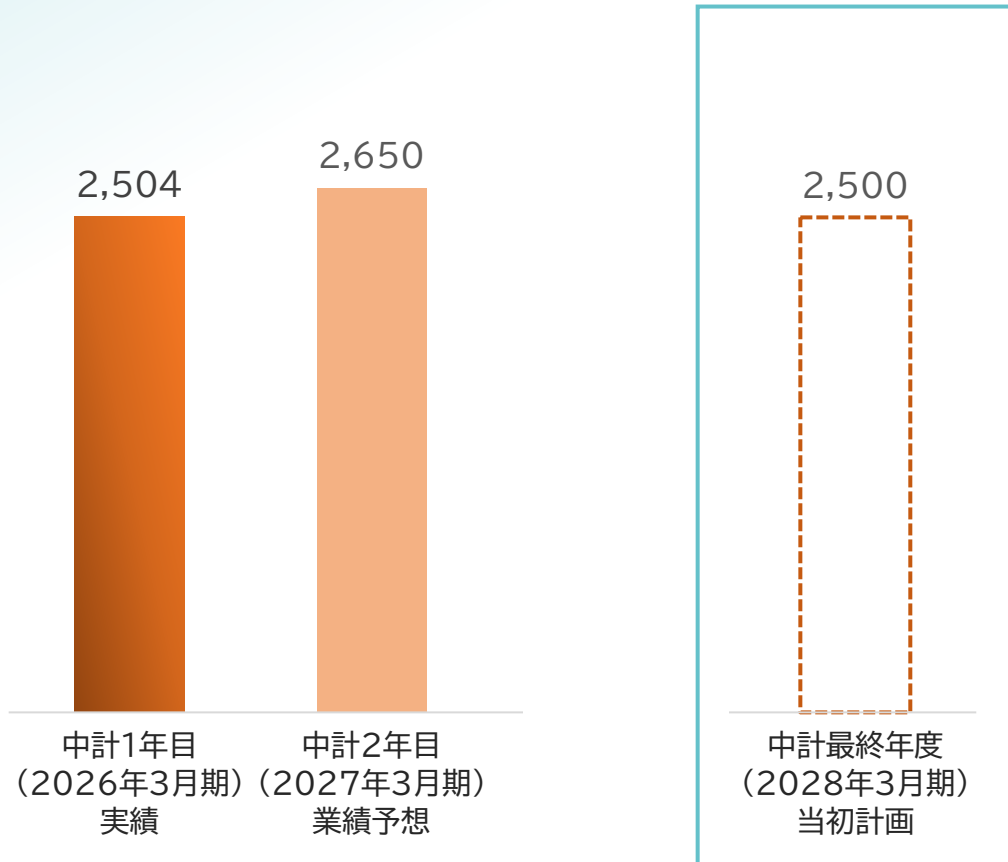
(百万円)

経営成績	中計1年目 (2026年3月期) 実績	中計2年目 (2027年3月期) 業績予想	中計最終年度 (2028年3月期) 当初計画
売上高	188,677	186,000	177,000
営業利益	3,605	3,800	4,000
経常利益	3,924	3,800	4,000
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,544	2,600	3,000
配当性向	50.2%	50.0%	50.0%以上 *100円を下限とする累進配当

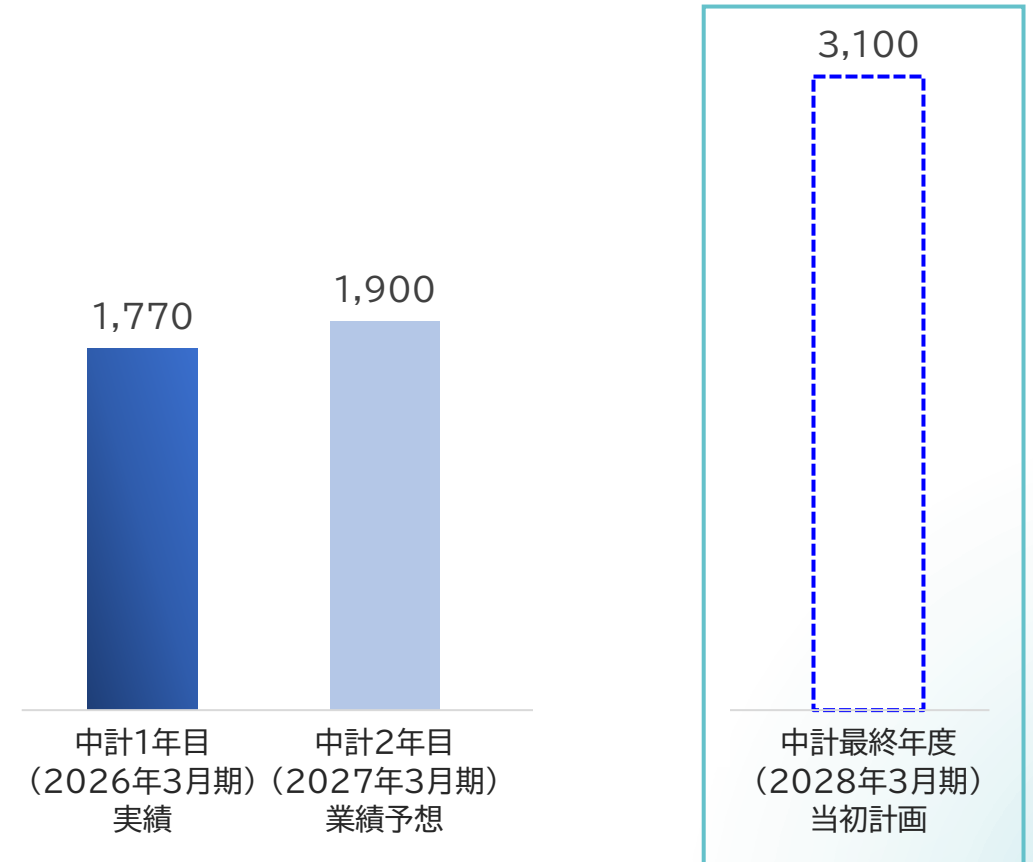
## 事業別業績の進捗状況（営業利益）

- 繊維事業は、トリアセテート繊維事業も寄与し、当初計画を上回って進捗する見通し。
- 工業製品事業は、成長軌道への回帰により当初計画の達成を目指す。

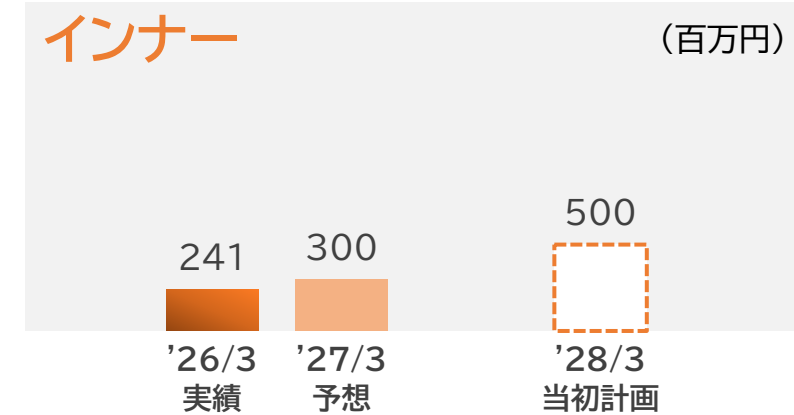
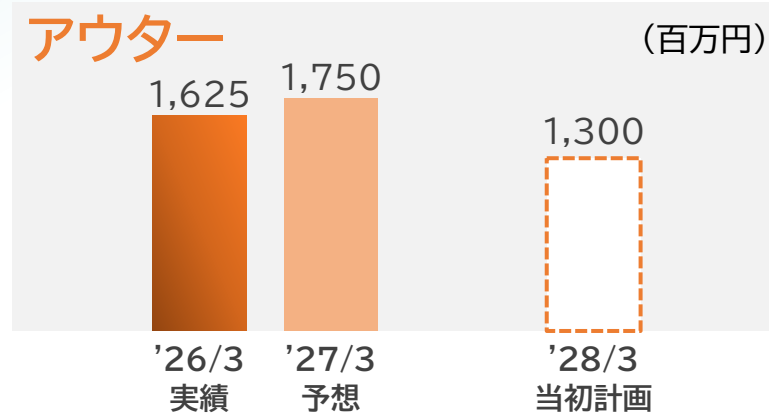
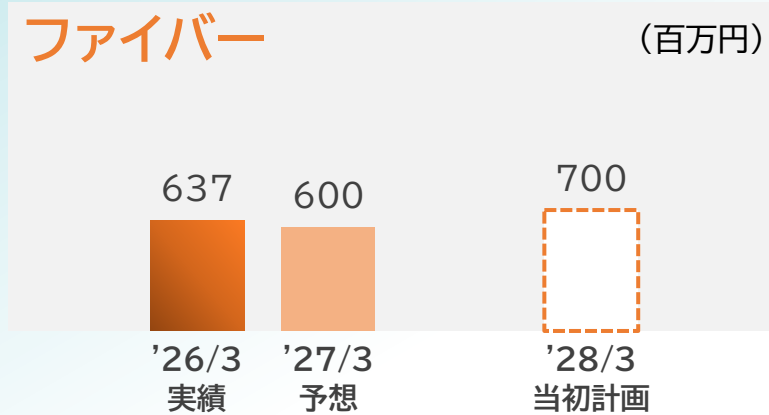
### 繊維事業合計 (百万円)



### 工業製品事業合計 (百万円)



# 繊維事業 セグメント別営業利益目標と進捗



- #### 中計方針
- 原糸、繊維原料の国内外販売、輸出入
  - メディカル繊維原料・製品の製造加工、販売

- #### 中計方針
- 差別化・独自素材の取扱い強化 (トリアセテート繊維)
  - 生地開発拠点を活用した高付加価値素材の提供

- #### 中計方針
- 生産拠点の再構築による収益性向上
  - 高品質製品 (Japan quality) の海外市場への拡販

- #### 2026年3月期トピックス
- 季節要因による需要量の変動
  - 特定取引先に対する貸倒引当金の計上

- #### 2026年3月期トピックス
- 不採算事業撤退による収益向上
  - トリアセテート繊維事業の貢献

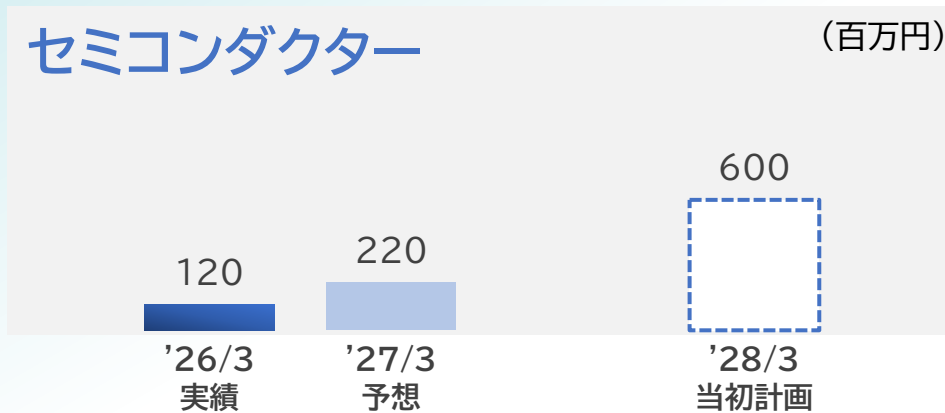
- #### 2026年3月期トピックス
- 酷暑によるランジェリー市場の回復鈍化
  - 高機能・自然由来素材のインナー需要の伸長

- #### 2027年3月期方針
- 気候変動に配慮した商材の拡充
  - CxO体制による与信管理体制の強化

- #### 2027年3月期方針
- テキスタイルグローバルマネージャー配置
  - トリアセテート販売拡充、ラボ機能の強化

- #### 2027年3月期方針
- 高機能・高品質製品へのシフト加速
  - 原材料価格高騰への対応迅速化

# 工業製品事業 セグメント別営業利益目標と進捗



#### 中計方針

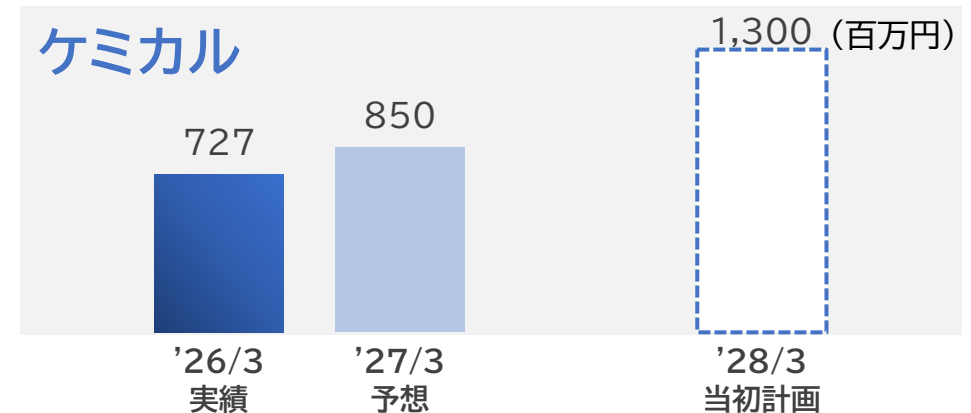
- 事業拠点の拡充による新体制構築
- 優良商材の世界展開(輸出入強化)

#### 2026年3月期トピックス

- 米国による対中半導体輸出規制の継続
- 海外製半導体関連商材の拡販

#### 2027年3月期方針

- 新拠点(台湾)を含むグループ連携による商材拡充、新規顧客の獲得
- 中国製ウェハ等の取引拡大
- 社外取締役の知見を活用した体制強化



#### 中計方針

- 拠点連携強化および商材の拡充
- 自社ラボ活用によるニーズに応じた付加価値の提供

#### 2026年3月期トピックス

- フランスにラボ設立、稼働開始
- 在庫評価減の計上

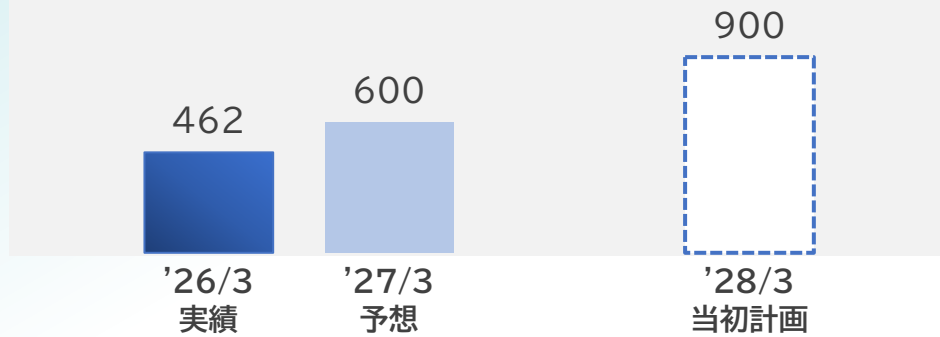
#### 2027年3月期方針

- ラボの本格活用による付加価値の提供
- 海外拠点経由の原材料調達拡大
- CxO体制導入による在庫管理の徹底

# 工業製品事業 セグメント別営業利益目標と進捗

## ホビー&ライフ

(百万円)



### 中計方針

- 自社ブランドの販売網を活かしたパートナーブランド製品の世界展開
- 業界大手パートナー企業との連携強化

### 2026年3月期トピックス

- 国内ホビー市場の成長鈍化

### 2027年3月期方針

- 自社ブランド(Mr.Hobby)の更なるグローバル展開
- 販売チャネルを活用したパートナーブランド品の拡充

## マシナリー&イクイップメント

(百万円)



### 中計方針

- ニーズに応えるパーティクル塗布装置および塗布サービスの提供
- 軽量化関連事業の連携強化
- 画期的な医療・衛生機器の世界展開

### 2026年3月期トピックス

- 装置関連の大型案件が業績に貢献
- 理化学関連装置の販売低調

### 2027年3月期方針

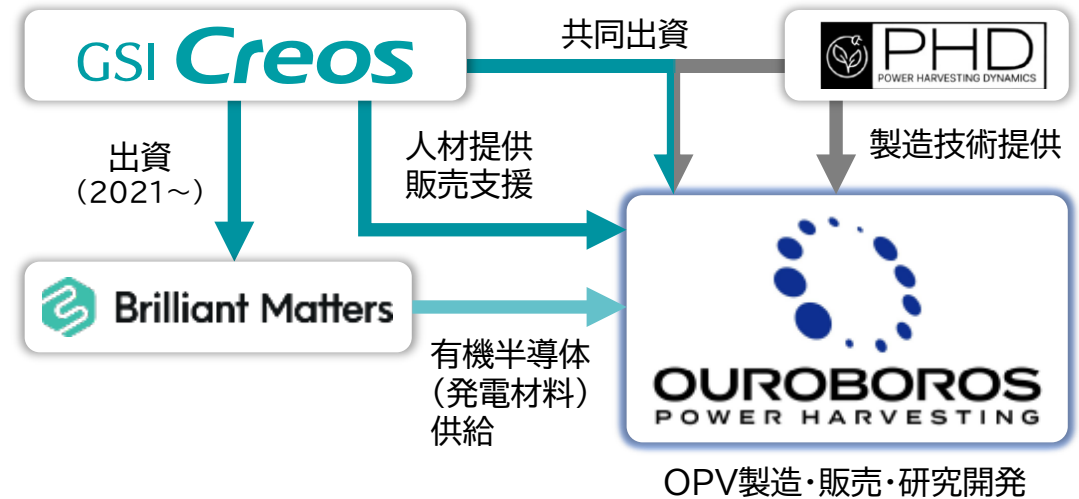
- 装置関連の継続受注および部材販売促進
- 医療・衛生機器の販売強化

# トピック① 有機薄膜太陽電池(OPV)の取り組み (1/3)

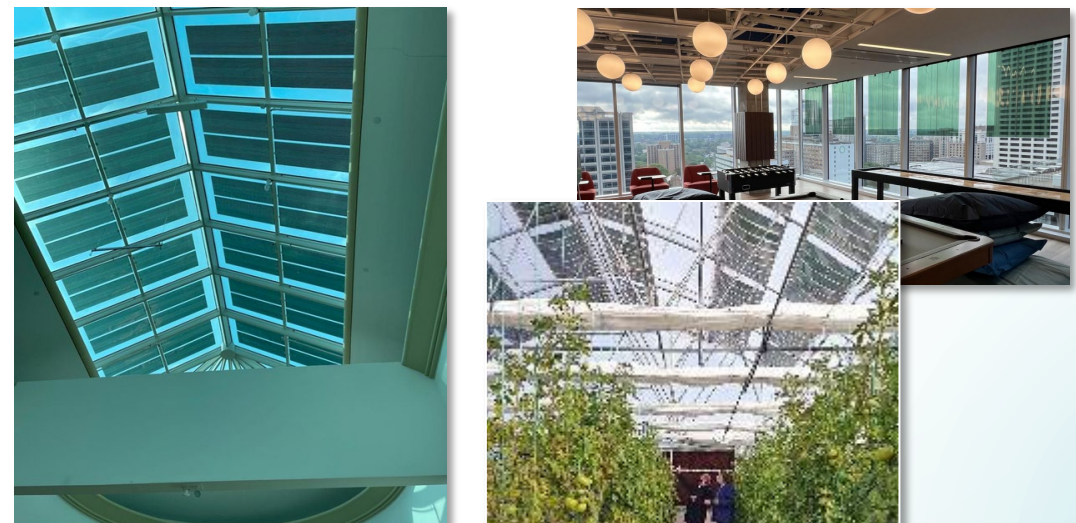
## OPVを製造・販売する合併会社を設立

- 当社は、世界最大の有機薄膜太陽電池 (Organic Photovoltaic:OPV)製造グループであるPHD社(ブラジル)とともに、合併会社ウロボロス・パワー・ハーベスティング(OPH社)を設立した。
- 両社は、2029年度以降のOPV国内製造開始を目指し、協働していくことで合意。  
**2030年代半ばには100億円規模の売上を目指す。**
- 超軽量・半透明で窓ガラスに後付け可能な光透過型OPV(Semi-Transparent OPV, ST-OPV)を用いて、ビルや商業施設の窓ガラスへの創エネ・省エネ機能の同時実装を実現する。

### ▼ 本事業における当社グループ体制



### ▼ OPVの実装イメージ



# トピック① 有機薄膜太陽電池(OPV)の取り組み (2/3)

## 有機薄膜太陽電池(OPV)とは？

- 有機半導体材料を用いた多層薄膜構造のフィルム型次世代太陽電池。光を吸収して電気に変える層が、極めて薄いフィルム構造の中に構成されている。
- 従来のシリコン太陽電池にはない、「軽い」「曲がる/丸められる」「光を通す」ことが大きな特長であり、この特性が、既存の建物の窓や荷重制限のある場所への設置を可能とする。
- 無害な有機素材で構成されているため、ペロブスカイトを始めとする他の太陽電池に比べて環境負荷が小さい。加えて、色表現性の高さが特徴であり、遮熱性も高いことから、他の太陽電池とは競合しない領域での実装が可能。

## OPVの強み



有機材料による  
安全性



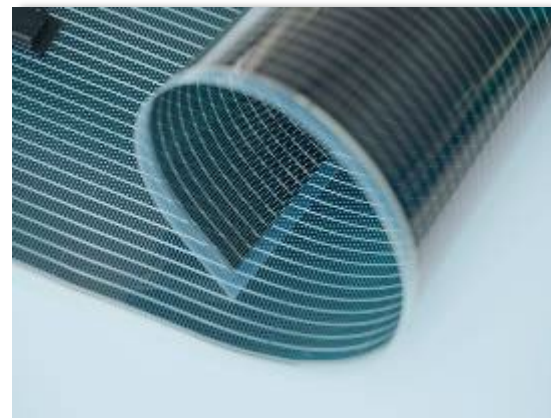
超軽量・  
フレキシブルな  
施工性



高い透明性と  
優れたデザイン性



遮熱効果による  
省エネ性能

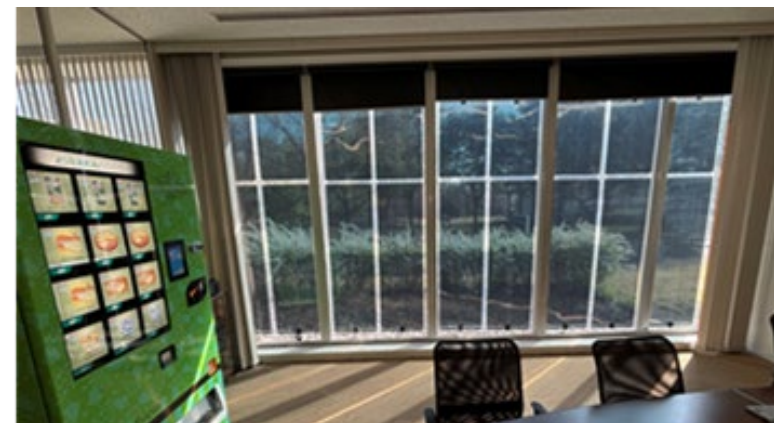


# トピック① 有機薄膜太陽電池(OPV)の取り組み (3/3)

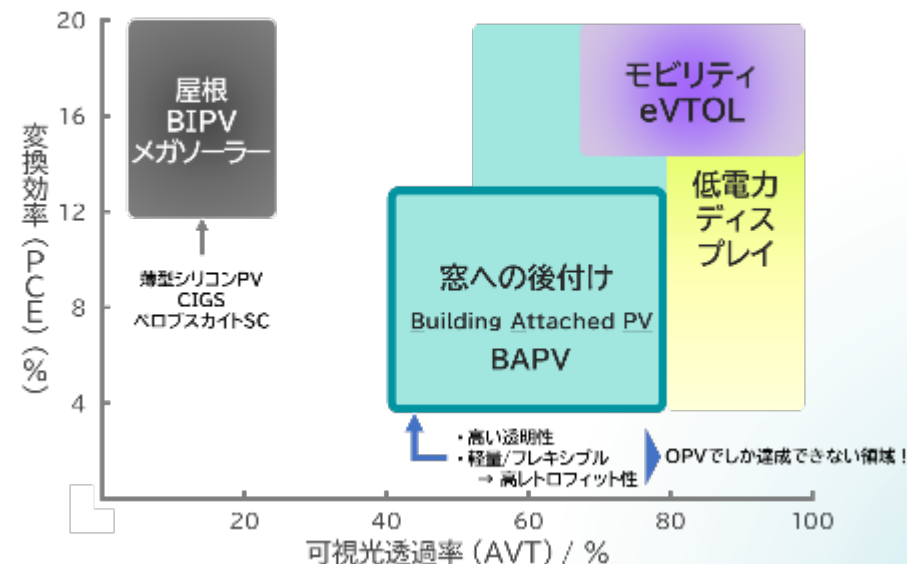
## OPV社会実装に向けた共同実証実験を開始

- 次世代の再生可能エネルギーである光透過型有機薄膜太陽電池(ST-OPV)の社会実装に向け、SDRS株式会社(旧社名:サンデン・リテールシステム株式会社)とともに、SDRS社の赤城事業所内の大会議室でST-OPVの共同実証実験を開始した。
- 本実証は、政府のGX方針(再生可能エネルギーの主力化、建築物の省エネ強化、分散型電源の拡大)に整合し、S+3E(安全性・安定供給・経済性・環境)を満たす都市型ソリューションの検証を目的としており、将来的に自治体、商業施設など災害時の避難所となる拠点への展開を計画している。

▼ SDRS社赤城工場での検証模様



▼ OPVの市場領域



# ROE10%超の達成に向けたロードマップ

計画の達成に向けた施策を確実に実行することで、ROE10%超を実現する。

ROE	2026年3月期 実績	ROE10%超に向けた施策	2028年3月期 目標
ROE	8.2%		10.0%超
 売上高純利益率 当期純利益 ÷ 売上高	1.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本コストを意識したポートフォリオ見直し</li> <li>付加価値の高いビジネスへのシフト</li> </ul>	1.7%
× 総資産回転率 売上高 ÷ 総資産	2.1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ全体の資産効率の改善</li> <li>棚卸資産の最適化、金融資産の圧縮</li> </ul>	2.2回
× 財務レバレッジ 総資産 ÷ 自己資本	2.8倍	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本構造最適化を意識した株主還元策</li> <li>機動的な自社株式取得</li> </ul>	2.7倍

# キャッシュアロケーション

## 2026年3月期の主な実施事項

成長投資  
約50億円

- 既存事業の進化や成長分野への取り組み加速
- 人事制度「GROWプロジェクト」推進  
(人材確保および人材育成、労働環境の改善)
- SMILEプロジェクト(DX推進)による知識とデジタルの基盤整理  
を実行中

インフラ投資 約10億円

株主還元  
約40億円

- 配当性向50%以上、下限100円の累進配当を継続  
(25年度実績:配当性向50.2%、1株当たり104.00円)
- 7億円を上限とした自己株式の取得を決議
- 株主優待の継続(クオカード)

※“GSI CONNECT Phase 2”(2025-2027)期間の累計額

# ESG経営の推進

## 当社グループのマテリアリティ(重要課題)

2026年3月期  
実施事項



### 環境と調和する豊かな社会の実現

- 当社グループが注力する「環境」「生活・健康」「エネルギー」分野への積極投資
- 排出量算定の対象領域を拡大(ソアロン社)、スコープ3の算定を開始



### 人材の充実と新しい働き方の推進

- 人材開発と挑戦する組織風土醸成を加速させるための人事改革「GROWプロジェクト」を始動
- 健康経営の取り組みを推進



### 実効性の高いガバナンス体制の強化

- 株主や投資家との対話の実施(IRフェア出展、当社初となる統合報告書を発行)
- 経営基盤の更なる強化にむけ、代表取締役の2名体制、CxO制度の導入

# トピック② 南米でのメディカル事業の推進 透析クリニック運営

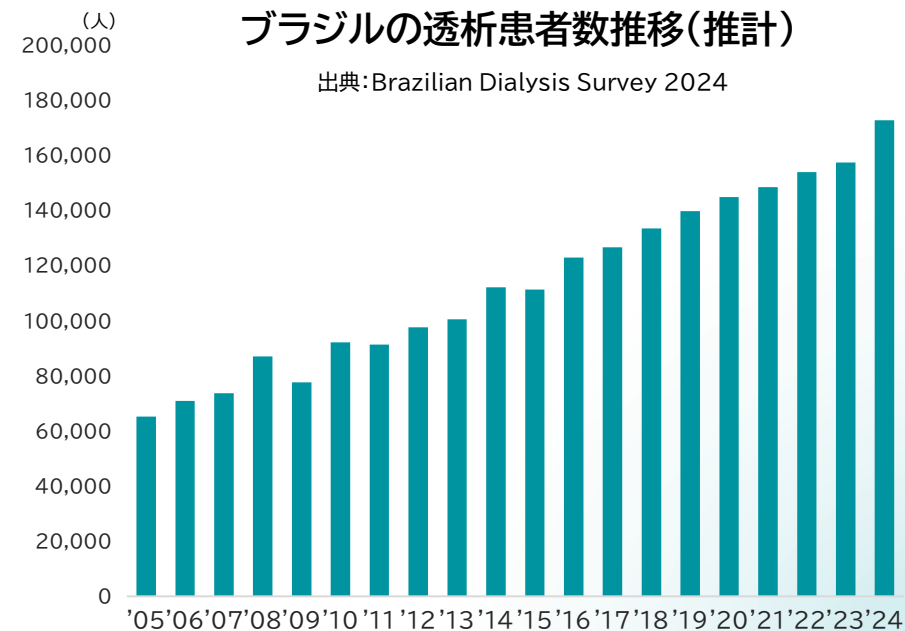
- 透析患者数が増加するブラジルで、現地企業と共同で透析クリニック”GSI Creos Memorial Clinic” を運営中。
- 本年4月に、5拠点目となる施設を開設した。
- 南米におけるメディカル事業への取り組みを強化することで、ESG経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する。
- 当社は、透析装置および消耗品の拡販はもとより、クリニック運営による業界認知度の向上を目指し、南米全体で事業を推進する。

▼クリニック内部の風景



ブラジルの透析患者数推移(推計)

出典: Brazilian Dialysis Survey 2024



▼ サンパウロ地域のクリニック



地図: Wikimedia Commons

パートナー企業



等

事業拡大へ

サンパウロ ●

# トピック③ GROWプロジェクトの推進

すべての従業員が活躍できる環境づくりや人材育成、多様な働き方を推進するための戦略人事「GROWプロジェクト」を推進。



## 2026年3月期 主な決定事項

### 人的資本強化に向けた賃金制度改革

処遇水準の引き上げと制度設計の見直しを通じて、人的資本の強化と中長期的な企業価値向上につなげる

### 継続的なベースアップの実施

2019年から継続してベースアップ。  
2026年度は一律2万円の引き上げ。

### 新職群制度の導入・初任給改定

- ・26年4月より「総合職」「一般職」に代わる「グローバル職」「エリア職」を導入。社員一人ひとりがキャリア観やライフステージに応じた働き方を選択できる制度へと改定。
- ・人材市場や雇用環境の変化を踏まえ、2026年度の新卒初任給(大学卒/グローバル職)を2万円増の28万円に。

### 賞与決定方法の見直し

賞与については、冬季賞与を固定化し、夏季賞与を業績評価に基づいて決定する仕組みへと見直し。

## トピック④ ガバナンス体制の強化に向けた取り組み

### 代表取締役2人体制・CxO体制の導入

#### 目的

経営管理体制の明確化および業務運営の円滑化。  
意思決定の迅速化と経営責任の所在を一層明確にし、  
中期経営計画の着実な遂行を図る

#### 代表取締役 社長執行役員 **CEO** 吉永 直明

▶▶ 全社の経営戦略、対外関係および最終意思決定の統括

#### 代表取締役 副社長執行役員 **COO** 小野 国広

▶▶ 全社の業務執行、業績管理、組織運営の統括

#### 上席執行役員 **CFO** 管理部門統括 足立 豊士

▶▶ 全社の財務戦略、資本政策の統括

### 新任社外取締役候補者の選任

#### 山口 宜洋 氏(やまぐち よしひろ)

大手半導体関連会社の社長として企業経営に関する豊富な経験をもつとともに、半導体に係る協議会の理事として、同業界の発展に携わる。

当社関連事業分野での幅広い見識と実務経験から、客観的・中立的立場から意見・助言をいただくことを期待。

#### <略歴>

1986年4月 日本フェアチャイルド(株)入社

2021年10月 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
代表取締役社長

2026年6月 当社 社外取締役 就任予定

#### <その他兼任>

- ・一般社団法人 九州半導体・デジタルイノベーション協議会 代表理事
- ・くまもと半導体グリーンイノベーション協議会 代表理事

## トピック⑤ グローバルマネージャー任命

26年度より工業製品事業に続き、繊維事業においてもグローバルマネージャー制度を導入した。当社が特に注力する「セミコンダクター」、「ケミカル」、「アウター」における、拠点の垣根を超えた経営戦略の策定・実行を通じ、業容拡大を担う。





5

結び

## 本日本お伝えしたいこと

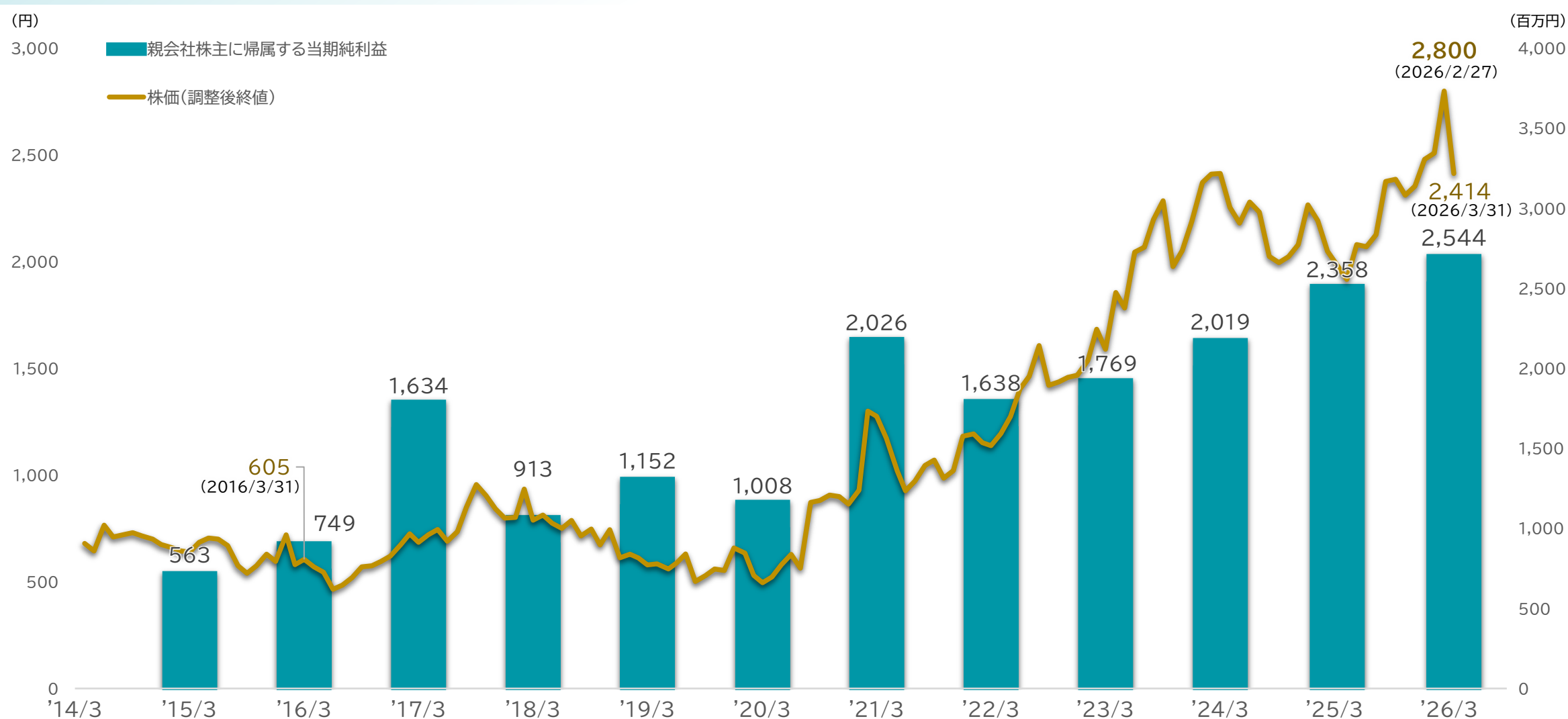
- 中期経営計画 “GSI CONNECT Phase 2” 初年度となる2026年3月期は、売上・利益ともに予想を上回る結果となった。売上高・純利益は過去最高額を更新し、前期比7円の増配とする。
- 中計2年目となる2027年3月期は、不透明な事業環境に左右されない強固な経営基盤を構築し、過去最高純利益の更新に取り組み、11期連続増配を予想している。
- 2026年4月に有機薄膜太陽電池(OPV)の事業会社を設立した。2030年代半ばまでに、売上高100億円規模を目指す。



6

# 補足資料

# 株価と当期純利益の推移



※2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

# 財務戦略

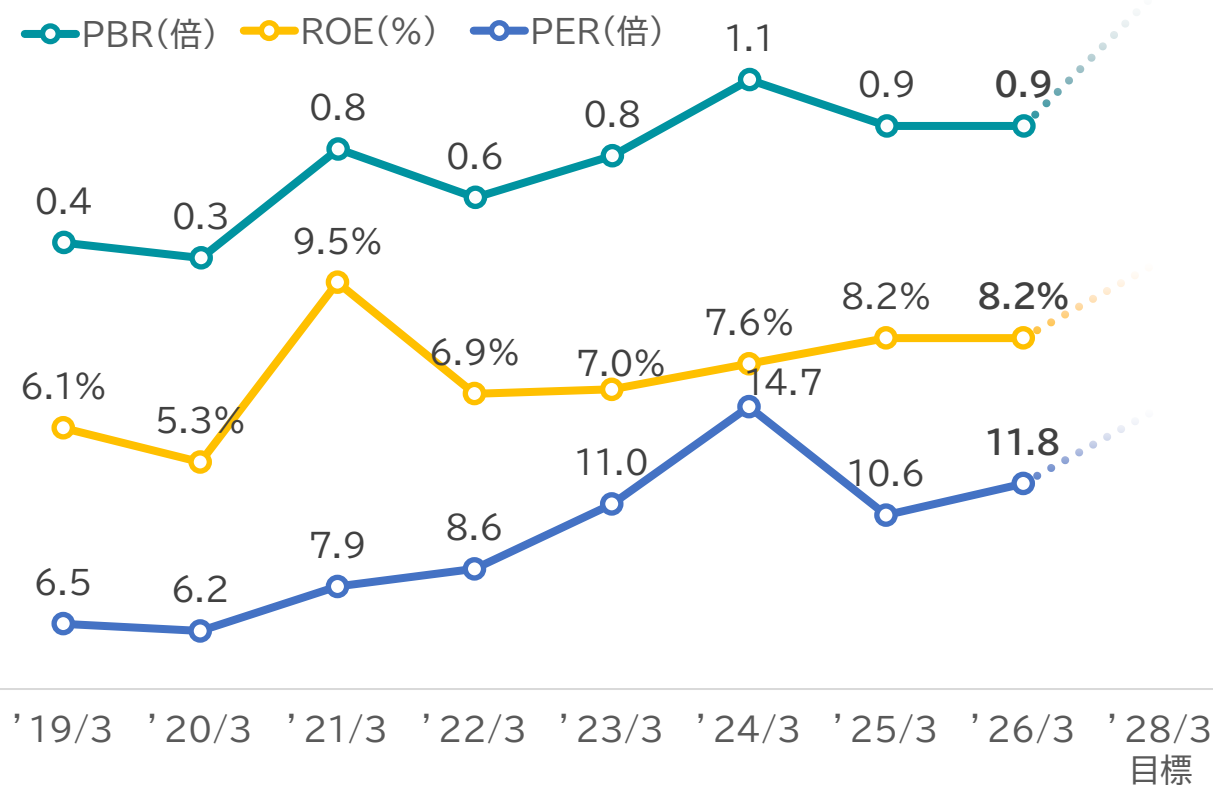
財務の健全性を維持し、PBR1倍以上を安定的に維持する。

PBR =

PER(株価収益率) × ROE(自己資本利益率)

➔ ROE向上に注力

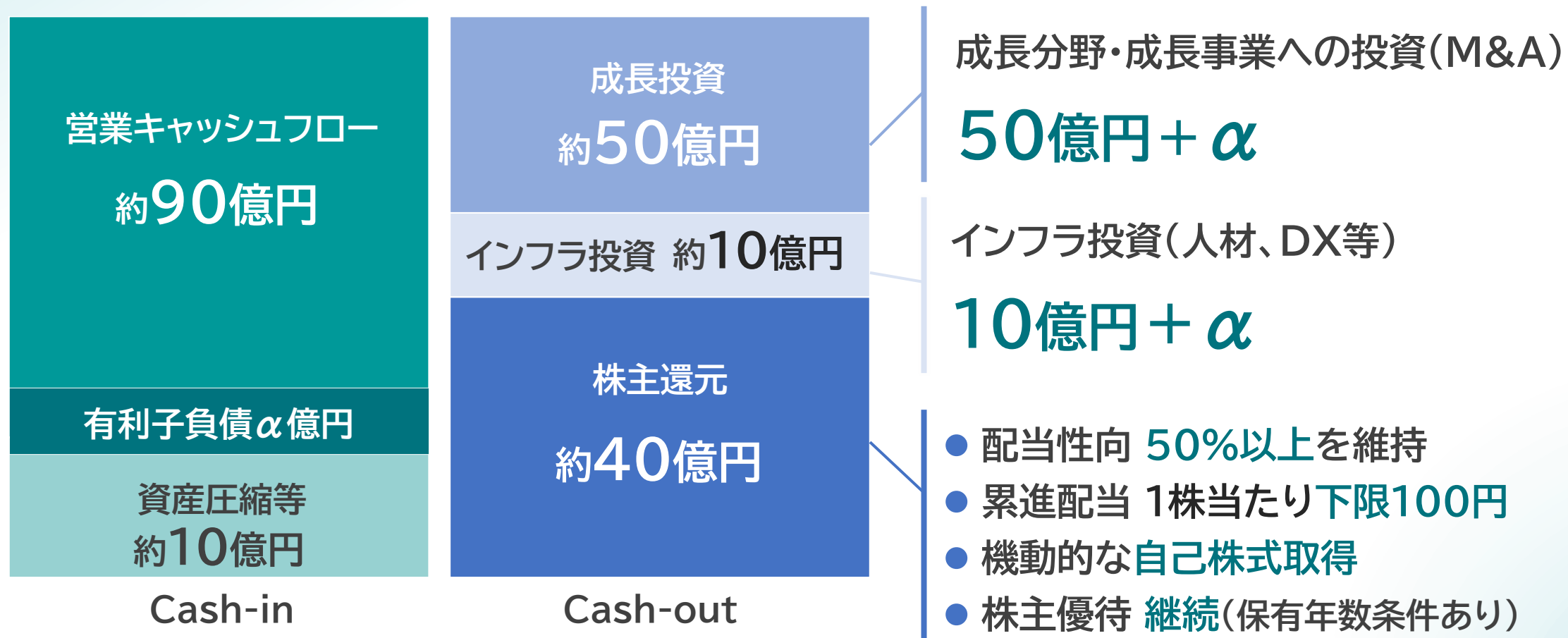
### PBR・PER・ROEの推移



# 投資戦略+キャッシュアロケーション

成長投資と株主還元をバランスよく行い、PBR1倍超の企業価値を安定的に維持・向上する。

“GSI CONNECT Phase 2”(2025-2027)期間の累計





# 環境と調和する豊かな社会の実現（サステナブル事業）

## ● 当社グループが積極的に展開する「環境」関連事業

トリアセテート繊維  
ソアロン

SOALON  
TRIACETATE



用途・特長

大手高級アパレル向け生地

差別化ポイント/社会貢献

- 当社独自のサステナブル素材
- 天然パルプ由来でFSC®森林認証取得

生分解性樹脂  
マタビー

MATER-BI



用途・特長

農業向けマルチフィルム、袋、パッケージ、  
3Dプリンター用フィラメント、など

差別化ポイント/社会貢献

- 微生物の働きにより海洋や土壌環境で完全分解
- 植物由来の柔らかさと高い層間強度の両立
- 環境省研究事業に採択(釣り具:ルアー)

微生物迅速検査装置  
バクテスター

BACTESTER®



用途・特長

持ち運びができる小型タイプの  
微生物検査装置

差別化ポイント/社会貢献

- 培養不要、約5秒で測定
- 食品関係に限らず、化学や医療など様々な製造環境の検査が可能

## ● 当社グループが積極的に展開する「生活・健康」関連事業

### メディカル製品



#### 用途・特長

南米での透析ニーズに対して  
最先端治療を提供

#### 差別化ポイント/社会貢献

- 日本製の高性能人工透析器の南米展開
- ブラジルでの透析クリニック運営  
（“GSI Creos memorial Clinic”）

### ヘルスケア製品



#### 用途・特長

QOLの向上を支える商品群

#### 差別化ポイント/社会貢献

- 手術患者や訪日外国人も気兼ねなく入浴施設を  
楽しめる機会の提供(入浴着)
- 女性の健やかさや美しさをサポートするフェム  
ケアブランド(AURA/BE)

### ホビー関連製品



#### 用途・特長

世界のホビーファンに楽しみと  
心の健康を提供

#### 差別化ポイント/社会貢献

- 「Mr. HOBBY」:  
世界で評価される模型関連商材ブランド
- 「fav's room TOKYO」:  
“推し活”をテーマとした雑貨ブランド
- 「CON'CELECT」:  
ネイリスト向けの高品質ネイル用品ブランド



## ● 当社グループが積極的に展開する「エネルギー」関連事業

### 半導体高分子材料

### 有機薄膜太陽電池(Organic Photovoltaic:OPV)



#### 用途・特長

半透明モジュールとして発電+遮熱を実現、窓などに貼り付けが可能

#### 差別化ポイント/社会貢献

- 安全安心(有機材料のみを使用し、鉛などの有害物質なし)
- フレキシブル(軽量で曲げることができるフィルム)

### ナノテクノロジー

### カーボンナノチューブ「カルベール®」



▲ カップ積層型カーボンナノチューブ(CSCNT)カルベール®

▲ カルベール®を使用した塗料でコーティングされたボルトやナット

#### 用途・特長

分散性、長さ調整技術に優れる当社独自構造のカップ積層型カーボンナノチューブ

#### 差別化ポイント/社会貢献

- 産官学での連携体制
- 防錆性や塗膜強度が高く、沿岸や砂漠にあるプラントなどで活躍
- 再生高機能プラスチックを使用した社会インフラ向け電材の社会実装への挑戦

# グループ会社一覧【国内】

	国内関係会社	事業内容
工業製品	株式会社セントラル科学貿易	理化学機器、医療機器等の販売
	株式会社ジーマーク	花火、家具等の販売
	桜物産株式会社	包装用フィルムや包装資材の加工・販売
	株式会社社ウロボロス・パワー・ハーバスティング	OPV製造、次世代OPVおよび有機エレクトロニクスの研究開発
繊維	株式会社いずみ	ファンデーションを主とした女性用下着等の企画・製造および販売
	GSIマルロンテックス株式会社	ストッキング・ソックス用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社GSIアブロス	カジュアルブランドやニット製品等の企画・製造および販売
	日神工業株式会社	各種繊維製品の製造・加工および販売
	株式会社ソアロン	トリアセテート(ソアロン)の製造および販売
	株式会社GSIソアロンテキスタイルラボ	トリアセテート(ソアロン)の加工および新規生地を試織
	但馬合織株式会社	ストッキング・タイツ用他、原糸の撚糸加工および販売
株式会社ソフィア	各種繊維製品の製造・加工および販売	

# グループ会社一覧【海外】

	海外関係会社		事業内容
米州	GSI Holding Corporation	アメリカ	北米地域における持株会社
	GSI Exim America, Inc.	アメリカ	生地、アパレル、半導体関連商材、化成品、ホビー関連商材等の輸出入
	GSI Creos Brasil Ltda.	ブラジル	化成品、メディカル機器等の輸出入
欧州	GSI Europe-Import+Export GmbH	ドイツ	化成品、機械、その他工業製品の輸出入
東アジア	GSI Creos Korea Co., Ltd.	韓国	繊維関連商材、化成品、樹脂、その他工業製品の輸出入
	GSI Creos China Co., Ltd.	中国	繊維原料、生地、インナー製品、アウターOEM業務、フィルム、化成品、その他工業製品の輸出入
	GSI Creos Technology (China) Co., Ltd.	中国	半導体関連商材の中国国内販売
	GSI (Shenzhen) Limited	中国	繊維原料・製品、フィルム、その他工業製品の輸出入
	GSI Trading Hong Kong Limited	香港	繊維原料、生地、樹脂・フィルム等の輸出入
	Beijing GSI Hosiery Co., Ltd.	中国	ソックス等の製造、販売
	GSI Creos Taiwan Corporation	台湾	半導体関連商材、化成品の卸売、輸出入
東南・南アジア	GSI Creos (Thailand) Co., Ltd.	タイランド	繊維原料、生地、インナー製品、化成品、その他工業製品の輸出入
	PT. GSI Creos Indonesia	インドネシア	繊維原料、化成品、その他工業製品の輸出入
	GSI Creos Vietnam Co., Ltd.	ベトナム	繊維製品、工業製品の卸売、輸出入
	GSI Creos India Private Ltd.	インド	化成品、その他工業製品の輸出入

# GSI *Creos*

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。